

会 議 録

会議の名称	第1回 本庄市文化芸術振興指針策定協議会
開催日時	令和8年8月21日（金） 午後2時00分から3時30分まで
開催場所	児玉文化会館セルディ 中会議室
出席者	審議会：手島委員、図師委員、染井委員、高橋委員、清塚委員、小暮委員、 吉田委員、菅野委員、竹内委員、生見委員、吉田委員、 小川委員、立花委員、山田高史 市議（早川委員代理）、塩原委員 事務局：下野戸教育長、野口課長、松澤課長補佐、河田主任
欠席者	早川委員
議題 （次第）	1. 開会 2. 委嘱状交付 3. 教育長あいさつ 4. 委員自己紹介 5. 会長・副会長選出 6. 議題 （1）報告事項 ①本庄市文化芸術振興指針策定協議会について ②アンケートについて 7. その他 8. 閉会
配付資料	・第1回 本庄市文化芸術振興指針策定協議会会議 次第 ・（資料1）本庄市文化芸術振興指針策定協議会委員 名簿 ・（資料2）本庄市文化芸術振興指針策定について ・（資料3）本庄市文化芸術振興指針策定協議会設置要綱 ・（資料4）本庄市文化芸術振興指針策定のためのアンケート ご協力をお願い 高校生以上用 ・（資料5）本庄市文化芸術振興指針策定のためのアンケート ご協力をお願い 中学生用 ・（資料6）本庄市文化芸術振興指針策定のためのアンケート ご協力をお願い 団体用
その他特記事項	傍聴人：0人
主管課	本庄市教育委員会事務局生涯学習課

会 議 の 経 過	
発 言 者	発言内容・決定事項等
野口課長	皆様こんにちは。本日は大変お忙しい中、本庄市文化芸術振興指針策定協議会にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。定刻となりましたので、第1回本庄市文化芸術振興指針策定協議会を始めさせていただきます。 私は、本日の司会を務めます生涯学習課長の野口と申します。よろしくお願いいたします。 なお、本庄市文化芸術振興指針策定協議会設置要綱第7条に基づき、本会議は公開といたします。本会議の開催について、市ホームページで公表し、傍聴人の定員数5名としてご案内したところ、傍聴希望者はありませんでした。 また、会議録作成のため、事務局にて本会議を録音させていただいております。あらかじめご了承ください。 それでは、次第2委嘱状の交付をさせていただきます。下野戸教育長より交付いたします。 配布しております資料1の名簿の順でお名前をお呼びいたしますので、その場でお立ちいただきまして、下野戸教育長より委嘱状の交付をお受けいただきますようお願い申し上げます。
下野戸教育長	(各委員へ委嘱状の交付)
野口課長	続きまして、下野戸教育長よりごあいさつを申し上げます。
下野戸教育長	改めましてこんにちは。本日はお忙しい中、本庄市文化芸術振興指針策定協議会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。 日頃より、それぞれの立場で芸術文化の振興にご協力いただいておりますことにも改めて感謝申し上げます。世界では変化がたくさんありますが、その中でも文化芸術の重要性はますます大きなものとなっております。 その反面、後継者不足等、様々な課題もあります。文化芸術は人々の成長を促し、励まし、様々な力があります。これを守り、育てていくためには地域の皆様、学校、各団体のご協力が必要です。 本日お集まりいただいた皆様からはこの後貴重な意見をいただくことになります。会議が意義あるものになりますことを心より願っております。 結びに、皆様のご健康とご活躍を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

野口課長	ありがとうございました。 続きまして、次第４でございます。大変恐縮ではございますが、委員の皆様から自己紹介をいただきたいと思います。 それでは資料１の名簿順で、手島委員からお願いいたします。
	(手島委員から順番に自己紹介)
野口課長	ありがとうございました。事務局の職員も自己紹介させていただきます。
	(事務局職員の自己紹介)
野口課長	なお、下野戸教育長は、この後、他に公務がございますので、退席とさせていただきますと存じます。 それでは、次第５、会長及び副会長の選出に移らせていただきます。 会長及び副会長の選出につきましては、配付しております資料３の本庄市文化芸術振興指針策定協議会設置要綱の第５条第１項で「協議会に会長及び副会長１人を置き、委員の相互によりこれを定める」との規定になっております。 早速ではございますが、皆様より会長及び副会長につきまして、推薦または自薦いただきたいと思いますが、いかがでしょうか？
吉田委員	事務局案があればお願いします。
野口課長	今、事務局案とのお話がありましたがよろしいでしょうか。まず会長ですが、文化団体連合会の副会長を務め、本庄シネマクラブの会長である高橋委員にお願いできればと考えております。また、副会長につきましては特定非営利活動法人ネットワークひがしこだいらの事務局長である立花委員にお願いできればと考えております。よろしいでしょうか。ご承認いただける場合は、拍手をお願いいたします。
委員	(拍手)
野口課長	ありがとうございました。 ここで、早速ですが、高橋会長、立花副会長には、前方の会長、副会長の席に移動をお願いいたします。 それでは、高橋会長、立花副会長からご挨拶をいただきたいと思います。よろしく申し上げます。
高橋会長	ご紹介いただきました、高橋と申します。様々な団体がある中、選んでいただきありがとうございます。皆様ご協力よろしくお願いいたします。
立花副会長	立花と申します。文化芸術振興指針の策定が上手くいきますよう、皆様のお力添えよろしくお願いいたします。
野口課長	ありがとうございました。 それでは、次第６の議題に移ります。議事進行につきましては、本庄市文

	化芸術振興指針策定協議会設置要綱の第6条第2項より、「会議の議長は、会長をもって充てる」としております。これからの議事の進行は高橋会長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。
高橋会長	それでは、本日の議事に入ります。 「(1) 本庄市文化芸術振興指針策定について」 事務局より説明をお願いいたします。
河田主任	改めまして事務局の河田と申します。私のほうから本庄市文化芸術振興指針策定についてご説明させていただきます。 まず、資料2 本庄市文化芸術振興指針策定について」こちらをご確認ください。 本庄市では令和6年3月に「第2次本庄市生涯学習推進指針」を策定しています。生涯学習推進指針では5つの柱を定めており、その中の1つが、「文化芸術活動の支援」となっております。これは、市民・団体が継続して発展的な文化芸術活動を行うための支援を体系的かつ計画的に推進することを目標にしております。 その一方で、少子高齢化、単身世帯の増加、デジタル化に伴う娯楽の多様化により、文化芸術活動を支える基盤が弱体化しているという現状があります。本庄市の文化芸術を守り、発展させることは、地域課題の解決や市民の生きがいに結びつくことになります。 そのため、生涯学習推進指針の柱である「文化芸術活動の支援」をより一層進めるため、その具体的な方向性を示すための文化芸術振興指針を策定することを目的としております。 次に、委員の構成につきましては、お配りしてあります資料1を各自ご確認ください。 続きまして、今後のスケジュールについて説明いたします。文化芸術振興指針策定協議会は令和9年7月までの間で3回開催する予定となっております。1回目は本日の会議となっております。また、令和8年10月中旬～11月中旬にアンケート調査を実施いたします。その結果を踏まえ、令和9年2月に2回目の会議、令和9年の5月に3回目の会議を予定しております。その後、令和10年2月に指針を策定するという流れになります。 事務局からの説明は以上となります。
高橋会長	事務局より、「(1) 本庄市文化芸術振興指針策定について」説明がございましたが、ご意見等ございませんか。
染井委員	先日、社会教育委員の会議の際に、文化芸術振興指針の話が出ました。その時の内容について、お話をさせていただきます。 まず1つ目として、スケジュールの中で指針を策定して終わりとなっておりますが、指針策定をゴールにしてよいのか。

	2つ目は、ここに集まっていた委員は意見を述べることはできますが、ほかの方は意見を述べることはできません。そのような他の市民からの意見はどうやって吸い上げるのか。少子高齢化、人、お金の問題に対してどのように向き合うのか、意見をいただきたいです。
松澤補佐	まず1つ目の質問に対して回答いたします。指針を策定して終わりだとは考えておりません。あくまで指針を策定して、これからの文化芸術の課題を浮き彫りにし、解決策を考えるのが狙いであります。 2つ目の質問に関しましては、この後説明がありますが、市民アンケートを実施いたします。3つのアンケートを用意してありまして、1つ目が高校生以上の市民3,500名、2つ目が本庄市の全中学生、3つ目が公民館等を利用している約250団体となります。幅広い世代にアンケートを取り、意見をまとめ、様々な問題に対し向き合うつもりです。
高橋会長	以上でよろしいでしょうか。他になにかございますか。
委員	(意見等なし)
高橋会長	意見がないようなので、質疑を終結いたします。 続きまして、「(2) アンケートについて」事務局より説明をお願いいたします。
河田主任	アンケートについてご説明させていただきます。 まずアンケートは、3種類ございます。 資料4は本庄市内の高校生以上の市民3,500名を対象としています。こちらは無作為で選出し、郵送にてアンケートを配布いたします。 資料5は本庄市内の中学校に通う生徒が対象です。生徒の持っているタブレットにデータを送り、回答してもらいます。生徒数は2,163名となっています。こちらはタブレット回答になりますので、配布している紙ではなく、回答様式を別途作成いたします。 資料6は本庄市の施設を利用している団体に対するアンケートです。こちらは公民館を利用している団体や文化団体連合会の団体に協力を依頼する予定です。約250団体を対象としています。 また、資料4高校生以上用及び資料6団体用につきましては、紙での回答だけでなく、インターネットでも回答できるよう、一枚目の表紙の部分に二次元コードを掲載する予定です。どちらも表紙の構成は変更となりますので、よろしくお願いいたします。 質問内容に関しましては、「文化芸術にどのくらい関わっているか、関心はあるのか、本庄市の文化芸術に求めることは何か」を問うアンケートとなっております。 今アンケートを確認していただき、気になる点等ございましたら、お伝え

	ください。また、お気づきの点がありましたら、期間が短く大変申し訳ありませんが8月25日の午前中までにご連絡いただければと思います。 事務局からの説明は以上となります。
高橋会長	事務局より、「(2) アンケートについて」説明がございましたが、ご意見等ございませんか。
塩原委員	アンケートの文化芸術の範囲の項目で郷土史がないので、是非追加していただけたら嬉しいです。
河田主任	追加いたします。
小暮委員	アンケートの修正依頼を出した場合に、それを反映したのか、または反映できなかった場合には、なぜ反映できなかったのか教えていただけることは可能なのでしょうか。
野口課長	反映した場合は反映した旨の連絡を、反映できなかった場合はその理由をお伝えするようにいたします。
小暮委員	かしこまりました。 高校生以上3,500人と伺いましたが、その数字はどのような理由になりますか。3,500人は少ない気がします。
松澤補佐	3,500人は本庄市がアンケートを取る際の基準となっている数字であります。また、この3,500人は無作為抽出で選ばれた人たちになります。
小暮委員	かしこまりました。
高橋会長	他に意見はございますか。
菅野委員	この会議は文化芸術に対し、ある程度の形を描いて、それを実現するために話し合う場だと思っていました。ただ市民アンケートを募って、いい意見があったら採用しようという考えでは、良い指針は策定できないと思います。
松澤補佐	本庄市の生涯学習推進指針の柱の1つに「文化芸術活動の支援」があります。今までは文化芸術活動において、具体的な推進策がありませんでしたが、今回は今後の方向性を示す形で、文化芸術振興指針の策定をする方向です。その上で、各団体の代表者からご意見をいただくことも必要だと思い、今回の会議を開いております。アンケートに関しては、市民の声を反映させるために必要な手段であると考えています。
菅野委員	分かりました。本庄市から県展の入選者を増やす等の考えはたくさん出てきます。また、私の悩みとしては、絵画の生徒数が増えないことです。そういった具体的な悩みも解決したいです。
松澤補佐	国の文化芸術振興計画でも、文化芸術を広めるため、様々な部分にアプローチしています。特に情報発信の仕方に力を入れています。本庄市の指針でもこういった所に力を入れていきたいと考えています。参考として埼玉県内

	では、県南のほうで指針や計画の策定が進んでいます。鴻巣、羽生、東松山、三芳、新座、所沢、川越、川口、さいたま市が策定しています。
小暮委員	今の本庄市に課題があるため、指針を策定すると思いますが、その課題とは何でしょうか。コミュニティの希薄、少子高齢化、担い手不足は日本全体的な部分であり、曖昧な気がします。課題が見えることによって、何を目的にするのか、どのような指針を策定するべきか見えてくると思います。 また、スケジュールで指針を策定するまでの会議が3回となっていますが、これだと少ない気がします。
松澤補佐	私自身は担い手の問題、資金不足をよく耳にします。本庄市の場合は、どこでどの団体が活動しているのか、市民が把握していないケースも多くなっています。広報、HP、LINE でしか発信されていないので、他の情報発信方法も決める必要があると考えています。 また、会議については、3回で予定しております。
小暮委員	具体的な部分はアンケートで出すということですか。
松澤補佐	そうです。アンケートでいろんな意見が出た中で、課題を解決する方法について、考えていきたいと思います。
小暮委員	課題としては、PR不足と後継者の問題でよろしいですか。
松澤補佐	その通りです。文化団体連合会の団体でもそのような相談をいただいております。課題を解決するためにも、今回の指針の策定にあたり、様々な意見を頂戴したいと思います。
塩原委員	指針を策定して、そこから具体的に動くことになるのですか。
松澤補佐	はい。今までは方向性が示されていなかったもので、今回は文化芸術に特化した形で、指針を策定します。
塩原委員	私は文化団体連合会に属していますが、補助金も依然と比べると減少しています。展示会をやるにも、ただ開催するのではなく、プログラム作成等、全て自腹です。指針を策定することにより、補助金が上がると助かります。担い手不足というお話がありましたが、お金がないから人が集まらないという現状があります。
松澤補佐	貴重なご意見ありがとうございます。参考にさせていただきます。
高橋会長	先ほど教育長からご挨拶がありましたが、文化芸術は人々の生活を豊かにします。また文化芸術は様々な分野があり、多様化しています。それぞれの分野が発展し、市民の皆さんが文化芸術に関わる機会が増えれば増えるほど、市も豊かになっていきます。 本庄市はどう文化芸術を発展させるのか、どういう支援ができるのかは、指針を策定する協議会の中で決めていければいいと思っています。 他にご意見はありますか。

菅野委員	私は本庄ファンクラブという NPO 法人に入っています。そこで本庄市の魅力を世間に広めていきたいと考えています。実際には HP の作成、つきみ荘の運営もしています。今回は様々な分野で技術の高い人が集まっています。そういった人たちを PR する場があるといいと思っています。
小川委員	実際に私も県展作品展が開かれるまで、本庄市とは縁がありませんでした。作品展は県南で開催されることが多いです。本庄市の県展作品展はすごく立派なものがあります。作品展で見に来た人たちに作品の説明をすると多くの人たちが興味を持ってくれます。県展作品展みたいな場を今後も広めていくのは良いことだと思います。
高橋会長	今回はたくさんの分野の方にお集まりいただいたので、人脈を広げることも大切だと思います。自分たちの分野だけでなく、全ての分野を発展させ、いい本庄市を作っていきたいですね。 他にご意見ありますか。
委員	(意見等なし)
高橋会長	意見ないものと認め、質疑を終結いたします。 これで、本会議の議題は全て終了いたしました。大変、貴重なご意見ありがとうございました。それでは、議長の任を解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。
野口課長	それでは次第 7 のその他といたしまして、皆様から何か相談事項や報告事項はございますか。
塩原委員	本庄市文化団体連合会の文化祭について、もう少し宣伝をして欲しいです。広報のほうにも掲載して盛り上げて欲しいです。
松澤補佐	宣伝をして観客を増やせるよう、対応します。
野口課長	他にご意見はありますか。
染井委員	次回の会議ではどんな話をするのか、自分たちの団体からはどんな意見を吸い上げてくればいいのか教えて欲しいです。
松澤補佐	次回の会議では、市民アンケートが終了している時期です。アンケートでどういった意見をいただいているのか報告します。また、指針の大まかな構成についても話し合います。
染井委員	分かりました。 会議の 1 週間ほど前に書類を送ってもらうことは可能でしょうか。
松澤補佐	1 週間前に送付できるよう検討いたします。
野口課長	会議の前には書類を郵送して、内容を精査した上で皆さんと話し合いができるようにしましょう。 他に意見のある方はいますか。
委員	(意見等なし)

様 式

野口課長	無いようですので、閉会の言葉を立花副会長にお願いいたします。
立花副会長	非常に熱心な会議になり、皆さんありがとうございました。建設的なご意見が多くありました。令和１０年に指針を策定するのがゴールでなく、その先を見据えた指針を作成したいと思います。次回も良い会議にしたいです。本日はありがとうございました。